

**ご長寿
万歳** 大嶋きみ子さんが
町最高齢者



9月1日現在の町最高齢者となった大嶋きみ子さん(西水沼)を、大関町長が表敬訪問しました。大嶋さんは、今年106歳。99歳の頃まで自転車でお出で、その後も室内バイクを楽しんでいたそうです。鰻などが好きで、ご飯をおかわりすることも。最近、茨城県のご実家への帰省を楽しみにしているそうです。

8/29 加藤春江さんが
栃木県民福祉のつどい表彰



栃木県民福祉のつどいが開催され、栃木県知事表彰に民生委員児童委員の加藤春江さん(稲毛田)が選ばれました。加藤さんは、多年にわたり、民生委員児童委員として地域福祉の向上のために尽力されています。

8/26 宇都宮ライトレール(株)中尾常務に
町政功労表彰



LRTの運行会社である宇都宮ライトレール(株)の常務中尾正俊さんに、町政功労表彰が贈られました。中尾さんは、町のLRT事業において、輸送の安全の確保を担う安全統括管理者として、町政の発展、産業の振興に尽力されてきたことから、芳賀町表彰条例に基づき、表彰されました。

9/5 宇塚勝子さんが
栃木県公衆衛生大会保健衛生事業功労者大会長表彰



栃木県公衆衛生大会が開催され、町食生活改善推進員の宇塚勝子さん(下延生)が保健衛生事業功労者として大会長表彰を受けました。宇塚さんは、多年にわたり、公衆衛生事業の発展のために尽力されています。

12/1(日)開催 芳賀町町制施行70周年記念
芳賀町ロマン花火2024×HAGAグルミネーションフェス2024
合同協賛のお願い

町では、芳賀町ロマン花火大会と、HAGAグルミネーションフェスを同日に開催します。両イベントを盛大に開催できるよう、多くのご協力をお願いします!

申込 ●観光係窓口で申込書を記入し、協賛金を添えて申し込み
●右記2次元コードから申し込み、協賛金を振り込み

締切 10月25日(金)※入金日は11月8日(金)まで

問合せ 商工観光課観光係 ☎028(677)1115

協賛金の種類	芳賀町ロマン花火・HAGAグルミネーションフェス 合同協賛金	メモリアル花火協賛金
協賛金	105,000円	
プログラム掲載	協賛金額により掲載方法が変わります。	メッセージを記載します。
申込		

「芳賀チャンネル」で町のさまざまな話題を放送中! 加入は宇都宮ケーブルテレビ ☎028(638)8092まで

はがの文芸

町文化協会では短歌・俳句・川柳の各種講座を開催しています。詳細は町民会館まで
☎028(677)0009

※敬称略

高松イクさん(下高根沢)



丸山久美子さん(下高根沢)



鈴木モコさん(西高橋)

短歌 「芳賀短歌会」
烏らに突きかじらるる西瓜あり
夫は負けじと綱を張りたる
鈴木 みき(東高橋)
梅雨なのに昨日も今日も暑い日よ
食器濯げば水の冷たし
岡田 ツヤ子(西水沼)

成り花のついでにキウウリおすそ分け
香り豊かに食卓埋める
佐山 美代子(下高根沢)
梅雨あけの猛暑つづきに野菜たち
ひとつふたつと姿消しゆく
山本 妙子(上延生)

俳句 「町民俳句講座」
回覧を持ちて近道刈田後
稲川 清子(与能)
食卓に終り初物秋なすび
大村 かし子(下高根沢)

睦月って稲刈る用意はじまれり
福武 幸子(下延生)
臨月の腹が先行く道残暑
阿久津 勝利(宇都宮市)
※「町民俳句講座」参加者

川柳 「お楽しみ川柳」
川柳の仲間恵まれ日々たのし
吉住 広子(祖母井)
綿よりも軽い口こそめめるもの
高松 イク(下高根沢)

久しぶり孫の成長目が潤む
駿河 富夫(稲毛田)
思いやる心が結ぶ人と人
関 ふさ子(宇都宮市)
※「お楽しみ川柳」参加者



あなたの声を聞かせてね! お便り待ってます!

●身近な出来事や町に関する要望・意見

芳賀町文化協会会長
駿河富夫さん(稲毛田)からの投稿
「日野原重明医師の著書を読んで」

人間の老いる姿は実に美しい。真の知恵は、常に季節に応じ変化する環境の中で、しなやかに変化していく事ができる。子どもの時には冒険的な正義心に満ち、青春を送り、時が来れば健やかに微笑む。老年に落ち着くこそ、人生の優れた芸術家であり、その事は、自尊心を持ち、隣人にも尊敬される者になることに繋がるであろう。難しいけれど、行動の中で輝きを持った生き方でありたいと思う。

増淵真由美さん(下高根沢)からの投稿



わたしの思い描く未来は、夢が現実になる、誰もが、自分の夢を叶えられる未来になると信じています。二人乗りの宇宙船に乗って、まだ発見されていない惑星を見つける旅をしてみたい。
黄褐色の砂丘を歩いたり、エメラルドグリーン湖の水面に手を入れて、冷たさを感じる。壮大な冒険ファンタジーの主人公になりたい。

高松イクさん(下高根沢)からの投稿

芳賀町日赤奉仕団による研修旅行に参加して
はじめに、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターを見学。血液製剤を必要としている人の尊い生命を救うためのセンターで、経験を重ねたベテラン社員たちの作業現場を、窓越しに見ることが出来ました。午後は、川越市内(時の鏡、菓子屋横丁)などを散策。個人では体験出来ない、楽しく、貴重な一日となりました。
「みなさまの思いやりで助かる命があります 献血は命をつなぐボランティアです」
血液事業本部長 紀野 修一さん